



キース・ヘリング展 — アートはみんなのもの
LOVE POP! Keith Haring Exhibition
—— Art is for everybody.

2012 **1.21** sat → **2.26** sun


休館日：月曜日 開館時間：10:00-18:00 (入館は17:30まで)

入館料：一般 800 (700) 円 大高生 450 (350) 円 中小生 150 (100) 円

※()内は20名以上の団体割引料金 ※兵庫県内の小中学生はココロカード、クローバーカード呈示にて無料 ※4市1町(伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町)の高齢者割引有(平日60歳以上、土日祝65歳以上)

主催：伊丹市立美術館・伊丹市立工芸センター・伊丹市立伊丹郷町館 [公益財団法人 伊丹市文化振興財団・伊丹市]、中村キース・ヘリング美術館、神戸新聞社

共催：伊丹市教育委員会 協賛：大伸社 特別協力：Keith Haring Foundation、アララ株式会社

協力：伊丹市立伊丹高等学校、兵庫県伊丹健康福祉事務所、マーマーカラー株式会社 後援：アメリカ大使館、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西

伊丹市立美術館・工芸センター・伊丹郷町館



1981年、ニューヨーク地下鉄構内の空いている広告板に貼られたたあの黒い紙に、白いチョークで描かれたシンプルな線のヒトやイヌ、ピラミッドなどが突如出現しました。ユーモアに溢れ、時に社会諷刺が込められたその絵は、駅員や警官の目を盗んで猛烈なスピードで描かれ、広告が取り替えられる度に変わりました。通り過ぎていく多くの人々の注目を集めた仕掛人こそキース・ヘリング (Keith Haring : 1958-1990) です。「地下鉄は人種、階級、性別、職業に関係なく、もっとも多くの人が行き来する場。ここに描けばみんなが見てくれる。」という思いから始めたグラフィティ・アートは美術界を巻き込んで一躍評判を呼び、ヘリングは80年代のアメリカ美術を代表する作家となるのです。

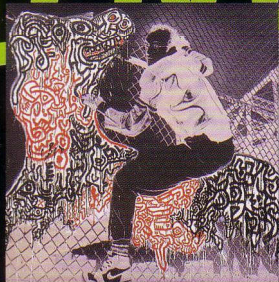
限られた人々だけが理解できるアートではなく、多くの人々が親しめる「大衆のためのアート」こそ、ヘリングが生涯を通して訴えたものです。単純化されたモチーフ、目を引く鮮やかな色には、「希望」「夢」「愛」そして「平和」のメッセージが込められており、観る者をわくわくさせます。エイズにより31歳で亡くなるまでの約10年間、精力的な活動と生み出した多くの作品はアメリカを越え、世界中に強烈な印象を与えました。

本展では、ヘリングの全貌に迫りながら多くの人々と「アートの力」を共有することを目指し、中村キース・ヘリング美術館 (山梨県) の所蔵品を中心に、約150点を展示します。初期から晩年までの絵画、版画、彫刻、ポスターをはじめ、日本での活動についても作品と資料により紹介。また、ヘリング自身が手掛けたグッズを販売し、一躍ブームを巻き起こした「東京POP SHOP」(88年) の関連作品やグッズも公開し、今もなお生き生きとした「力」を発するヘリングの世界に迫ります。

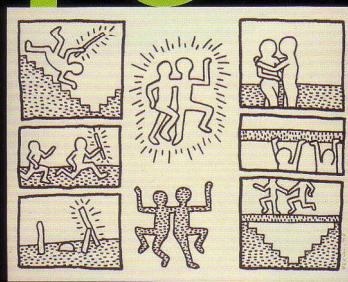
Polaroid self-portraits with glasses painted by Kenny Scharf, 1980-1981
Courtesy of Keith Haring Foundation

LOVE POP! Keith Haring Exhibition

Art is for everybody.



1



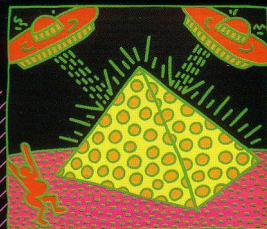
2



3



4



5



6

1. 《無題(自画像)》 *Untitled (Self-Portrait)*, 1988
ミクストメディア mixed media
Photo : Gianfranco Gorgoni
中村キース・ヘリング美術館蔵
©Keith Haring Foundation
2. 《ブループリント・ドローイング》 *Blueprint drawings*, 1990
シルクスクリーン/紙 silkscreen/paper
中村キース・ヘリング美術館蔵
©Keith Haring Foundation
3. 《無題(KH.200)》 *Untitled (KH.200)*, 1982
ビニールシートに樹脂ペイント vinyl paint on vinyl tarp
高知県立美術館蔵
©Keith Haring Foundation
4. 《ドッグ》 *Dog*, 1986
アクリルシルクスクリーン/木 acrylic silkscreen/wood
中村キース・ヘリング美術館蔵
©Keith Haring Foundation
5. 《無題(Fertility)》 *Untitled (Fertility)*, 1983
シルクスクリーン/紙 silkscreen/paper
中村キース・ヘリング美術館蔵
©Keith Haring Foundation
6. 《アンディ・マウス》 *Andy Mouse*, 1986
シルクスクリーン/紙 silkscreen/paper
中村キース・ヘリング美術館蔵
©Keith Haring Foundation

【講演会+ギャラリートーク】

中村キース・ヘリング美術館のコレクションとその魅力についてお話しさせていただきます。
日時: 1月21日(土) 10:30~約1時間
場所: 美術館1階講座室+展示室
講師: 中村和男(中村キース・ヘリング美術館館長)
梁瀬薫(中村キース・ヘリング美術館顧問 美術評論家)
定員: 先着100名(聴講無料 要観覧券)

【壁画プロジェクト】

「キースが願った“平和”の実現を願って」
アーティストと一緒に壁画をつくりましょう。
日時: 1月21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)
21日: 13:00~16:00、他日: 11:00~12:00、13:00~16:00
場所: 美術館外周(雨天決行)
講師: 田内万里夫(アーティスト)
自由参加 参加無料

【Keith × Dance】

タップダンサー・SAROとキース・ヘリング作品のコラボレーション。
日時: 2月11日(土祝) 14:00~
出演: SARO(タップダンサー)
場所: 美術館展示室
定員: 先着80名(聴講無料 要観覧券 申込不要)
*当日11:00より整理券を配布いたします。
*開催時にご来館の方には一部展示をご覧いただけます。

【特別展示《無題(デイグロ・スプレーペイント)》1983年

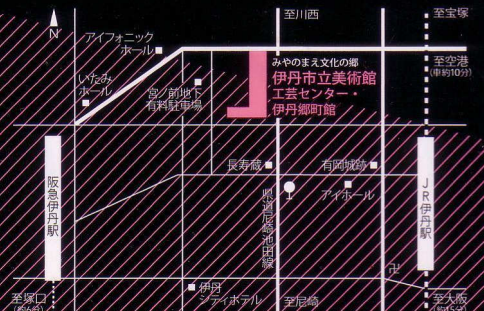
《無題(デイグロ・スプレーペイント)》
Untitled (Day-glo spray paint)
キース・ヘリングとL.A.IIのコラボレーションによって生まれ、
ブラックライト照射により発光する本作を特別に展示。
ブラックライト照射日時: 会期中の日曜日、各日11:00~、14:00~(約10分間)

【同時開催「知ろう! HIV・AIDS」】

日時: 2月7日(火)→11日(土祝)
場所: 美術館1階講座室
協力: 兵庫県伊丹健康福祉事務所



AR(拡張現実)による
キース・ヘリングの
アニメーションを
無料配信します。



- 【交通のご案内】
- 阪急伊丹駅より徒歩北東へ約9分
 - JR伊丹駅より徒歩北西へ約6分
 - 阪急バスの伊丹中央停留所より徒歩北へ約3分
*宮ノ前地下有料駐車場有

伊丹市立美術館 工芸センター・伊丹郷町館

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20
TEL. 072-772-7447

まずはARアプリ(無料)をダウンロード! **ARアプリ** 検索
特設サイト <http://www.artmuseum-itami.jp/keith/>